

### 「クロアゲハ幼虫騒動(4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

昆虫の変態の中でも「前蛹(ぜんよう)」という状態は、観察できる機会が少ないと思う。アゲハの場合、種類にもよるが、前蛹の状態であるのは、半日~1日程度である。子どもたちにとっても、あまり馴染みのない姿なので、興味を持つ子どもが多い。



この女兒も、前蛹にかなり関心を持ったようで、休み時間返上で、自主観察をしていた。

スケッチも観察文もなかなか優秀だと思った。カラアゲハと書いてあるが、これはクロアゲハの誤りである。幼虫を「一番大きい子です」と表現しているところに、幼虫に対する愛着を感じる。この子どもの期待通りこの前蛹は、翌朝にサナギになっていた。



こんなアルミの窓枠で、よく蛹化したものだと、感心してしまった。サナギの下には、最後に脱皮した皮のかたまりが落ちていた。観察カードを書いた女兒は、このサナギを見て、「うわあー、一晩で大変身したねー！カッコイイ！」と、とても喜んでた。

ふりがな( )  
 年 組 なまえ( )  
 月 日 天気( ) 気温( )℃  
 かんざつしたもの(カラアゲハ 前よう)  
 見つけた場所( )

見ました  
 29.5.24  
 田中

これが本当の形。  
 皮膚ではなく、もうだいたい  
 とこから見るよ、(上)でこぼして  
 ざんせーになると中...  
 そんなに重たい...

最優秀賞

3年1組目でカラアゲハのよう虫をか  
 いて一番大きい子です。どこにいますか  
 かにいたらうたがわがきんが見つけ  
 てくれました。  
 どこにいたらかという、右がわのまどのは  
 どこにいました。ギリギリでした。その子は  
 サナギに なるよ、前ようでした。目の下  
 に糸が ありました。もう一匹 いるので  
 書きたいのと、サナギになるのが楽  
 しです。

先生から賞  
 努力賞



クロアゲハは幼虫も立派だが、サナギも堂々として  
いる。大きな角が2本あるところが素晴らしい。こん  
な細い糸で大丈夫かと、心配になってしまう。この場  
所では危険なので、完全に蛹化して茶色に変わったら、  
「サナギホルダー」にしようと思っている。